

## 会社概要

商号 林兼産業株式会社  
 本店所在地 〒750-8608  
 山口県下関市大和町二丁目4番8号  
 TEL (083) 266-0210 FAX (083) 266-1266

主要製品 食肉加工品(キリンマハム)・肉類(霧島黒豚)  
 魚肉ハム・ソーセージ(マルハハム・ソーセージ)  
 機能性食品(エラスチン・ソフミート)  
 養魚用飼料

## 役員一覧

平成29年9月30日現在

取締役社長 (代表取締役)	熊山 忠和
専務取締役	内部統制室担当 兼品質保証部担当 中部 哲二
常務取締役	飼料事業部長 比嘉 幹男
社外取締役	(非常勤) 石川 達紘
取締役	水産食品事業部長 兼開発部担当 西村 伊知郎
取締役	畜産食品事業部長 兼東京支社担当 兼大阪支社担当 三井 宏
取締役	管理本部長 兼経営企画室長 高田 啓吾
常任監査役	(常勤) 山本 昌信
監査役	(非常勤) 大深 邦宏
監査役	(非常勤) 川崎 哲彦
監査役	(非常勤) 桑原 望

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 特別口座の口座管理機関 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 連絡先(注) 電話 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)

公告の方法 電子公告により行う

(注)株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用しています。

## Today's Special

自社ブランド 「銘店監修の逸品ギフト」

霧島黒豚割烹料理 4種セット **新製品**



新宿割烹 中嶋 店主 中嶋貞治氏

和食の名門「新宿割烹 中嶋」。北大路魯山人が主催した「星岡茶寮」の初代料理長である中嶋貞治郎氏が銀座に創業した割烹「中嶋」から分家独立したお店です。

現在は孫の貞治氏が店主を務め、魯山人や貞治郎氏の味を受け継ぎ、2008年より10年連続でミシュランガイドの星を獲得しております。

今回ご紹介する「霧島黒豚割烹料理4種セット」は、その貞治氏が霧島黒豚の味を活かして作り上げた逸品です。



当社ホームページでIR情報等がご覧いただけます。

<http://www.hayashikane.co.jp/>

林兼産業

検索

証券コード | 2286

# With you

第79期

中間期

株主通信 平成29年4月1日～平成29年9月30日



## 社長から皆さまへ

株主の皆さまに第79期中間株主通信をお手もとにお届け申しあげるにあたりまして、日頃のご愛顧とご支援に厚く御礼申し上げます。

当中間期の当社グループの売上高は、魚肉ねり製品や機能性食品の売上増加があったものの、養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより214億48百万円(前年同期比7.0%減少)となりました。損益面におきましては、売上減少や豚肉相場が高値で推移したことによる仕入コストの増大などにより営業利益は5億44百万円(前年同期比5.2%減少)となりました。経常利益は営業外収支が改善したことにより6億26百万円(前年同期比7.5%増加)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は税金費用の増加により3億96百万円(前年同期比10.8%減少)となりました。

当社グループは前連結会計年度からの2ヵ年を「強化」の期間とし、「人財育成」および「基盤整備」を基本方針とする「第三次中期経営計画」(平成29年3月期～平成30年3月期)を推し進めてまいりました。

「人財育成」については、課題解決による能力向上をテーマに、人事評価制度の再構築や個々のスキルに合わせた従業員教育の充実などを通じて、能力開発や技術レベルの向上を図っております。また、「基盤整備」については、前計画の基本方針である「売上最大」「品質最高」「経費最小」に継続して取り組み、一層の強化に努めました。

今後も安定的な利益確保に向けて構造強化を図り、持続的な事業発展を目指してまいりますので、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

取締役社長

熊山 忠和



※「第三次中期経営計画(2ヵ年経営計画)」の詳細につきましては、当社ホームページ「IR情報」をご参照ください。  
[<http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html>]

林兼産業株式会社

# セグメント概況

## [水産食品事業]



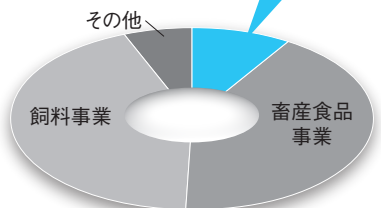
魚肉ねり製品は、国内市場が縮小傾向にあるなか、海外への輸出量が増加したことなどにより、増収となりました。

機能性食品は、機能性食品素材カツオエラスチンや高齢者向けソフト食「ソフミート」の販売数量が増加したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は23億11百万円(前年同期比12.1%増加)となりました。

### セグメント別売上高

**23億11百万円**  
(前年同期比12.1%増)



## [畜産食品事業]



ハム・ソーセージ等食肉加工品は、OEM(相手先ブランド供給)製品の販売数量が減少したことにより、減収となりました。

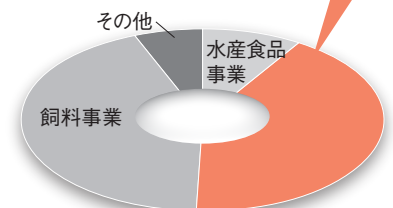
肉類は、豚肉の販売数量が増加したことにより、増収となりました。

調理食品は、新規ルートの販売を開始したこともあり、増収となりました。

これらにより、売上高は97億60百万円(前年同期比1.3%増加)となりました。

### セグメント別売上高

**97億60百万円**  
(前年同期比1.3%増)



## [飼料事業]



養魚用飼料は、ブリやマダイの在池量減少などを背景に国内生産量が減少するなか、既存取引先への販売数量が減少したことにより、減収となりました。

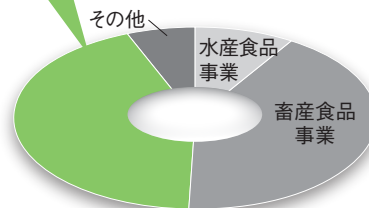
水産物は、鰻相場が下落したことなどにより、減収となりました。

畜産用飼料は、プロイラー用飼料の販売数量が減少したことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は84億4百万円(前年同期比16.0%減少)となりました。

### セグメント別売上高

**84億4百万円**  
(前年同期比16.0%減)



# 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>	
流動資産	14,813
固定資産	16,523
有形固定資産	9,972
無形固定資産	31
投資その他の資産	6,520
<b>資産合計</b>	<b>31,337</b>
<b>負債の部</b>	
流動負債	16,582
固定負債	7,534
<b>負債合計</b>	<b>24,117</b>
<b>純資産の部</b>	
株主資本	5,286
資本金	3,415
資本剰余金	8
利益剰余金	1,869
自己株式	△7
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>1,189</b>
その他有価証券評価差額金	1,249
繰延ヘッジ損益	1
為替換算調整勘定	11
退職給付に係る調整累計額	△73
<b>非支配株主持分</b>	<b>743</b>
<b>純資産合計</b>	<b>7,219</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>31,337</b>

## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

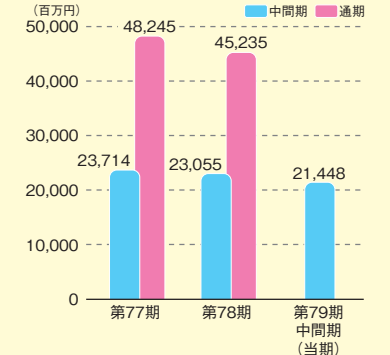
科目	当中間期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>21,448</b>
売上原価	17,931
<b>売上総利益</b>	<b>3,517</b>
販売費及び一般管理費	2,973
<b>営業利益</b>	<b>544</b>
営業外収益	199
営業外費用	116
<b>経常利益</b>	<b>626</b>
特別利益	0
特別損失	18
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>608</b>
法人税、住民税及び事業税	210
法人税等調整額	△9
<b>四半期純利益</b>	<b>408</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	11
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>396</b>

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

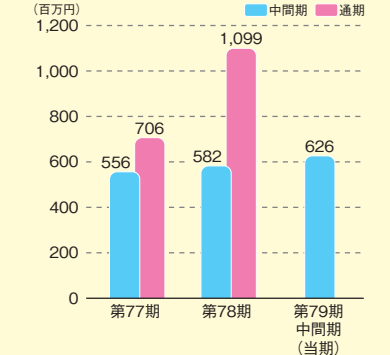
(単位:百万円)

科目	当中間期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△658
投資活動によるキャッシュ・フロー	△236
財務活動によるキャッシュ・フロー	492
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△404
現金及び現金同等物の期首残高	2,090
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,686

### ○連結売上高



### ○連結経常利益



### ○親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

